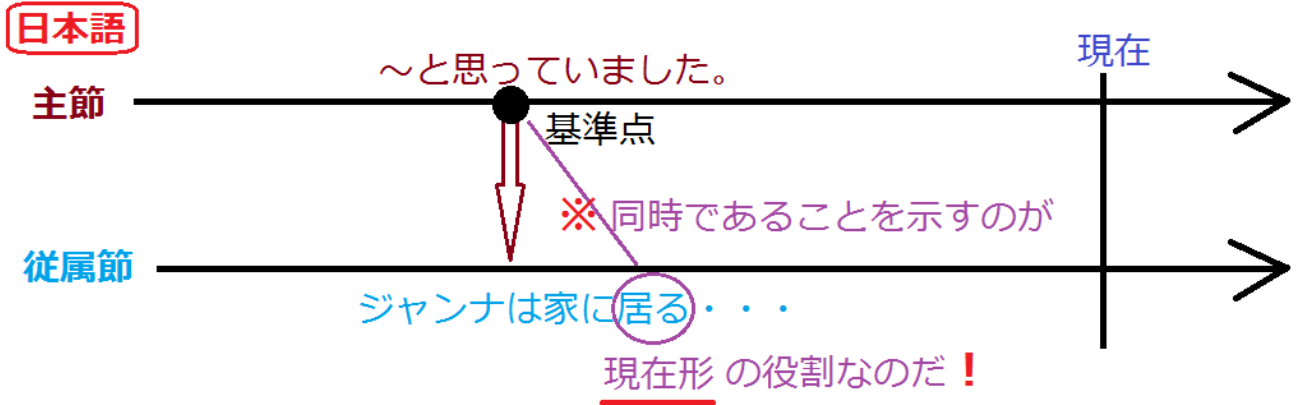


4. 時制の一致 ① なぜ必要？



日本語にも「時制の一致」はある！

重要なのはイタリア語式の「時制の一致」との違いを認識すること。



日本語の場合、従属節の時制の基準点が常に主節の動詞の時制に置かれる。

※一方、イタリア語では・・・



・・・従属節の時制は主節のそれと関連付けられていないので、話し手が手動で設定する必要がある。従って、その内容が過去のことである以上、過去形で言うことになるが、その場合、主節と同時点のことならば、未完了相を使わなければならない。

※完了相／未完了相の違いがよく分からなくなったら、「近過去と半過去」のレッスンを復習すること。